

新2学年数学科⑤

7章「資料の活用」

※ 1年生の教科書内容

〇月〇日 (〇)

まず、
日付を書きましょう。

P15問 1

(1) ~~~~~


教科書の問題は、
ノートに書きましょう。

まとめ

最後に、
まとめを書きましょう。

階級 . . .


◎ ワークの問題はワークに書きましょう。



下の資料は、あるクラスの15人の靴のサイズ(cm)の一覧である。

26 29 25 24 26 23 26 27 28 26 24
26 25 25 26

このクラスで一番多い靴のサイズは何cmでしょうか。



答え

26cm





最頻値とは

ある資料の値の中でもっとも多く現れる値を

最頻値（モード） という。

階級値とは

度数分布表で、各階級のまん中の値を **階級値** という。

例 130cm以上140cm未満の階級の階級値は

$$\frac{130 + 140}{2} = 135(\text{cm})$$

※度数分布表の最頻値を答える場合、
階級値を用いる

階級値を用いて平均値を求める方法

例 新2年数学科④の陸上チームのA選手の記録

| 階級 (秒) | 階級値 (秒) | A選手 | 階級値×度数 |
|-----------------|---------|--------|--------|
| | | 度数 (回) | |
| 12.70以上～12.80未満 | 12.75 | 0 | 0 |
| 12.80 ～12.90 | 12.85 | 2 | 25.7 |
| 12.90 ～13.00 | 12.95 | 2 | 25.9 |
| 13.00 ～13.10 | 13.05 | 3 | 39.15 |
| 13.10 ～13.20 | 13.15 | 3 | 39.45 |
| 13.20 ～13.30 | 13.25 | 0 | 0 |
| 計 | | 10 | 130.2 |

- ① 各階級の階級値を求める
- ② 各階級の階級値と度数をかけた値を求める
- ③ ② の合計を計算する
- ④ ③ を度数の合計でわる

平均値
13.02 (秒)




階級値を用いて求めた平均値・・・13.02（秒）

実際の平均値・・・13.014（秒）

階級値を用いて平均値を求めた場合、正確な値にはならないが、おおよその平均値を**素早く**求めることができる。



1年生に使用したワーク
のp 9 8 C、D
を解いて理解を深めよう。



1年生に使用したワークの
p 99～101を解いて
理解を深めよう。

資料の範囲とは

| A選手 | B選手 |
|-------|-------|
| 13.05 | 13.17 |
| 13.17 | 12.71 |
| 12.96 | 13.08 |
| 13.01 | 13.12 |
| 12.92 | 13.01 |
| 13.16 | 13.03 |
| 13.10 | 13.15 |
| 12.87 | 13.00 |
| 12.83 | 12.99 |
| 13.07 | 13.23 |

100m走の記録（秒）


A選手の記録とB選手の記録の最大値と最小値に注目して表にまとめると下のよう
な表になる。

| | 最大値（秒） | 最小値（秒） |
|-----|--------|--------|
| A選手 | 13.17 | 12.83 |
| B選手 | 13.23 | 12.71 |

最大値と最小値の差を、分布の

範囲（レンジ） という。

範囲 = 最大値 - 最小値



A選手の範囲

$$13.17 - 12.83 = 0.34 \text{ (秒)}$$

B選手の範囲

$$13.23 - 12.71 = 0.52 \text{ (秒)}$$

A選手の範囲の方が、B選手の範囲よりも小さい。

これは、A選手の記録は平均値に近い値にまとまっており、B選手の記録は散らばっていることを表している。



まとめ

最頻値 ・ ・ ・ 資料の値の中でもっとも多く現れる値

階級値 ・ ・ ・ 度数分布表で各階級のまん中の値



近似値と有効数字については
3年生で学習します。

